

英語テーマ別講座(CALL による TOEIC 対策)

経済学部・経営学部・人文学部社会学科・法学部・薬学部

○ プログラムの目的

外国語の学習には、「知識」を増やす学習と、学んだ知識を使えるようにするために反復練習によって「訓練」をする学習とがあり、どちらもバランスよく学習しなければ外国語の力は伸びません。外国語学習は運動と似たところがあり、例えば、水泳のやり方を詳細に知っていても、実際に泳ぐ訓練をしなければ、泳げるようにならないのと同様です。

特に TOEIC などの得点を伸ばすためには、この「訓練」が欠かせません。TOEIC を受けていて、「もっと時間があればできるのに！」と思ったことはありませんか？ もし時間をかければ正解できるのであれば、これは「知識」が足りないというよりは、それを使うための「訓練」が足りないのです。

この授業では、コンピューターを利用した学習プログラムによって、自学自習方式で、英語を使うための「訓練」をし、英語運用能力を伸ばします。

○ eラーニングによる自学自習型学習

⇒ 通常の授業のように、決まった曜日の決まった時間に教室に集まって行われる授業ではなく、パソコンを使って、空き時間に自分で進めていく自学自習形式の授業になります。体験版 (<http://gyuto-e.jp/trial/start.do?class=b>)

○ 3つの期間設定

⇒ 英語テーマ別講座 (CALL による TOEIC 対策) の開講期は「その他」になりますが、プログラムの受講時期は、前期、後期、夏期 (後期扱い) の3つの期間に設定されており、夏休み期間中に受講することも可能です。

また夏期に開講される「CALL による TOEIC 対策Ⅳ」は リスニングに特化したプログラムで、リスニング力の落ちやすい長期休暇中に、しっかりとリスニングを鍛えることができます！

評価学期	前 期 扱い		後 期 扱い	
	前期開講	夏期開講	後期開講	
受講期間	4月下旬～7月上旬	8月上旬～9月下旬	10月上旬～12月上旬	
	CALL による TOEIC 対策Ⅰ	CALL による TOEIC 対策Ⅲ CALL による TOEIC 対策Ⅳ	CALL による TOEIC 対策Ⅱ	

※ 「CALL による TOEIC 対策」の履修者は、事前と事後に TOEIC を必ず受けなければなりません。そのため、履修期間中に生協にて TOEIC の申し込み手続きを終わらせてください。TOEIC の申し込み用紙は、生協で受け取るか、「松山大学 HP—在学生の方へ—教務課からのお知らせ」からダウンロードして下さい。